

平成26年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞団体の概要

北陸農政局長賞

かわひがしちくさるがいたいさくきょうぎかい
川東地区猿害対策協議会

(代表者：代表 倉嶋 和四蔵)

(新潟県新発田市)

隣接した集落が切磋琢磨し「サルに負けない集落づくり」への取組

主な取組

- ・ 当地区では、「サル害は人災である」との信念のもと、市内で初めて地区協議会を立ち上げ、学習会の実施や被害の有無にかかわらず全世帯から負担金を徴収し地区全体で助け合う体制を構築した。
- ・ 専門家の指導を受けながら住民参加の集落環境診断を行い、各集落の被害マップを作成し、被害対策の検討を行っている。特に被害の多い8集落には横断的な電気柵の設置を行い、電気柵の維持管理にも積極的に取り組んでいる。
- ・ 当地区は、県主催の鳥獣被害対策本部研修会の先進事例として取組内容が紹介され、新発田市におけるサル害対策の先進モデル地区としての役割を果たしている。

平成26年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞者の概要

北陸農政局長賞

てらだ まさよし
寺田 正義 氏

(富山県下新川郡朝日町)

技術的アドバイスにより町の鳥獣被害対策の体制整備に貢献

主な取組

- ・ 朝日町有害鳥獣対策協議会の設立にあたり、鳥獣の専門的知識を有する人材として参画し、以後、協議会の中心メンバーとして同町の鳥獣被害対策の体制整備に貢献。
- ・ 特に、県内で先駆けて鳥獣の生態を考慮した侵入防止柵の整備に取り組むとともに、野生鳥獣との棲み分けのための緩衝帯整備の実施を進めた。
- ・ 担い手育成にも積極的で、初心者はベテランと一緒に捕獲活動に参加する体制を整え、実践を通して捕獲従事者を育成する体系を整えた。また、県猟友会の狩猟免許講習会の講師を10数年努めるとともに、他市町村でも捕獲技術講習会の講師として招かれ、県内における担い手育成、捕獲技術向上に大きく貢献している。
- ・ 同氏の指導の結果、朝日町の野生鳥獣による農作物被害は大きく減少している。